



あなたと地域をつなぐ情報紙

文社協だより

文京区社会福祉協議会

3月号
令和5年(2023年)
No.142

奇数月発行



SDGsとは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。文社協でも、主に「健康・福祉」「まちづくり」「パートナーシップ」を目標とした取り組みを進めています。

文社協だよりは、文京区社会福祉協議会で実施している事業やイベントのお知らせ、報告等を掲載している、地域の福祉情報紙です。地域の皆さんが安心して暮らせるまちを目指して、皆さんのつながり合いや助け合いをサポートするための情報を発信していきます。

手話は、言語。 生きるために欠かせないもの。

いま、手話を学びたいという人が増えています。ですが通訳者になるまで続ける人はとても少ないのが現状です。興味を持ったらもう一步踏み込んで、聴覚に障害のある人にとって手話がとても大切な「言語」であることを知り、それを使う人たちを理解するところから始めてみませんか。今回は、文京区聴覚障害者協会会長の酒井さんにお話をうかがいました。

“手話を学ぶ”ということ。

Q 酒井さんにとって手話とは？

皆さんにとっての日本語と同様、私の第一言語です。私は声を出して話すことはできませんが、手話を使えば皆さんとお話することができます。知っておいてほしいのは、手話は日本語とは異なる独自の文法を持つ言語であるということ。表情や手の動きのニュアンスで感情まで伝えられること。また、私のように第一言語としていたろう者の使う手話と中途失聴者が使う手話は異なる、といった知識も持っておいていただけるとありがたいです。



▲手話通訳をしているところ



▲左：中野佐世子さん 右：松田泉さん（文京区手話講習会運営委員）

Q 以前と比べて変わったことは？

東京都で手話言語条例が施行されてから、筆談の用意をしてもらえる場所が増えたと感じています。テレビでも手話を目にするのが増えましたね。生活の中で大きく変わったと感じるのはお店のレジでしょうか。昔は「店員さんの言葉がわからないから、とりあえずお札を出しておく」の繰り返しで、聞こえない人の財布の中に小銭が溢れてしまうこともありました。今はレジのモニターに金額も表示されるようになって、とても便利になりました。

Q 酒井さんにとって手話通訳者とは？

手話通訳者はコミュニケーションをつないでくれる大切な存在です。普段手話のできない人と話すときは筆談やジェスチャーなどを使うのですが、時間や手間もかかりますし、伝えたいことが正確に伝わらないこともあります。話し相手も筆談が苦手だったり私たちとのコミュニケーションを面倒に感じたりすることもあるでしょうから、手話通訳者がいてくれるのはとても心強いです。

Q 手話を学びたい人にメッセージを

講習会の参加人数が増えています。ドラマの影響もあるのでしょうか。でも学ぶ意識が弱いと、思った以上の難しさに途中で挫折してしまう人も多い印象です。講習会は無料の場合も多いですし（文京区はテキスト代実費のみ）、気軽に参加できるのはとてもいいことです。でも、あなたにとって手話を覚える意味はなんなのか、学びながら考えてほしいですね。手話そのものだけでなく、聞こえない人たちとのふれあいをとおして理解を深めてほしいと思います。

PROFILE

聴覚障害があり、物心がついたときから手話でコミュニケーションをしている。20年以上、文京区聴覚障害者協会の理事職を続けている。二児の母でもある。



文京区聴覚障害者協会
会長
酒井 美穂さん

文京区聴覚障害者協会とは

文京区で聴覚障害者の権利を守るために活動している団体。現在は主に、東京都同様の手話言語条例が文京区でも制定されることを目指して交渉や調整を続けている。会員数は70名ほど。



1

イベント

**第83回フミコムcafe マップ(地図)作りで茗荷谷の魅力を再発掘
~面白いを続けていたら、街じゅうに仲間ができた稲富さんの物語~**
ご自身の足で情報を集め、茗荷谷エリアの魅力が詰まった地図作りを行うゲストから、取り組みを始めたきっかけや活動の原動力を伺います。

- 日時** 3月15日(水) 19:00~20:30
- 会場** 区民センター 地下1階 C-base
- 講師** 稲富 滋 氏 (茗荷谷界限プロジェクト代表)
- 対象** どなたでも
- 定員** 15名 (申込順)
- 費用** 無料
- 申込** 電話またはメールで下記へ
- 締切** 3月13日(月) (締切後もご希望の場合は下記へご連絡ください)
- 問合せ** 地域連携ステーション フミコム
☎03-3812-3044 ✉fumikomu@bunsyakyo.or.jp

2

講座

手話講習会(初級~通訳者)

聴覚障害者を支援する手話ボランティアや手話通訳者を養成するための講習会です。必ず募集要項をご確認ください。

- 日時** 5月18日(木)~令和6年3月14日(木) ※毎週木曜(全40回)
- 会場** シビックセンター3階 障害者会館(初級・中級・上級)
区民センター4階 活動室B(通訳者養成)
- 対象** 区内で活動を希望する高校生以上で、1年間を通じて受講ができ、講習会修了後、文京区内でボランティア活動を希望する方
- 費用** テキスト代(初級・中級)3,300円 ※初級・中級を通じて2年間使用
(上級・通訳者養成)5,060円 ※上級・通訳者養成を通じて2年間使用
- 申込** 下記で配布する申込書(ホームページからもダウンロード可)と、結果を通知するための返信用封筒(84円切手を貼った長形3号(120×235mm))を同封し、郵送もしくは持参
- 締切** 4月28日(金)
- 問合せ** 文京ボランティア支援センター ☎03-3812-3114
https://www.bunsyakyo.or.jp/

3

講座

傾聴ボランティア講習会

高齢者などを支援する傾聴ボランティアを養成するための講習会を開催します。※日程①と②は同内容です。

- 日時** ①5月23日(火)~7月11日(火) 14:00~16:00(全4回)
②7月25日(火)~9月12日(火) 14:00~16:00(全4回)
- 会場** 区民センター 3C会議室ほか
- 講師** 傾聴の会「ぞうの耳」
- 対象** 区内在住・在勤・在学者
- 定員** 各8名(抽選)
- 費用** テキスト代(100円程度)
- 申込** 下記で配布する申込書(ホームページからもダウンロード可)と、結果を通知するための返信用封筒(84円切手を貼った長形3号(120×235mm))を同封し、郵送もしくは持参
- 締切** 4月14日(金)
- 問合せ** 文京ボランティア支援センター ☎03-3812-3114
https://www.bunsyakyo.or.jp/

4

講座

あんしん・なっとく成年後見制度

基礎的な制度説明と利用方法・申し立て手続きと後見人等の職務について、具体的な事例を交えながらわかりやすくご説明します。

- 日時** 5月26日(金) 14:00~16:00
- 会場** 区民センター 2A会議室
- 講師** 三森 敏明 氏 (弁護士)
- 対象** 区内在住・在勤・在学者
- 定員** 50名(申込順)
- 費用** 無料
- 申込** 4月12日(水) 9:00から電話またはメールで下記へ
- 問合せ** あんしんサポート文京 ☎03-3812-3156
✉ansins@bunsyakyo.or.jp

5

研修

**子育てサポーター認定制度 令和5年度第1回
ベーシックサポーター認定研修受講生募集!!**

子ども・子育て支援新制度のスタートとあわせて創設された「子育て支援員研修」を活用した、文京区独自の研修プログラム「文京区子育てサポーター認定制度」の受講生を募集します。全3日間修了した方には「ファミリー・サポート・センター事業」などの担い手として地域の子育て世帯のサポートをしていただきます。

- 日時** ①5月20日(土) 9:00~16:00②5月21日(日) 9:00~16:30
③5月23日(火) 9:30~12:00
- 会場** ①②貞静学園短期大学③区民センター
- 対象** 区内在住・在勤・在学の20歳以上の方
- 定員** 15名(抽選)
- 費用** 無料
- 申込** 電話で下記へ
- 締切** 4月20日(木)
- 問合せ** ファミリー・サポート・センター ☎03-3812-3043

6

お知らせ

福祉サービスの苦情解決をお手伝いします

児童・高齢・障害等の福祉サービス(在宅・施設を問いません)の利用に関し、お困りごとがありましたらお気軽にご相談ください。

- 相談方法** ①各提供事業者にご相談
福祉サービス利用に関するお困り・お悩みごとはまず、ご利用の福祉サービス提供事業者にご相談ください。各事業所では、話し合いによる苦情解決に努めています。
- ②文京区社会福祉協議会権利擁護センター(あんしんサポート文京)に相談
各事業者に相談しても解決しない、事業者に直接言いにくい場合は、文京区社会福祉協議会権利擁護センター(あんしんサポート文京)にご相談ください。職員がご相談にのり、解決のお手伝いを行います。また、必要に応じ専門職等による「福祉サービス苦情解決委員会」にて解決に努めます。
※事業所等への指導権限等はありません。
- 問合せ** あんしんサポート文京 ☎03-3812-3156

新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、上記講座等は内容(日時や開催方法)が変更、中止・延期になることがあります。

CHALLENGE [チャレンジ]

ボランティア活動先募集中!!

ボランティア音楽会あおぞら

高齢者施設などで定期的に音楽会を開催し、施設利用者の方々と楽しい時間を共有するなかで、音楽の持つ素晴らしい力を活かして活動しているボランティア団体です。季節に合わせて、年に3回プログラムが変わります。現在、活動先を募集中です。



●内容

合奏(ピアノ・ブサルタリーなど)と混声合唱からなり、全体で15名~20名くらい(その都度、設定にあわせて人数は変わります)。皆さんと共に音楽会を成功させることが大切な要件なので、事前に歌詞を配布して、皆さんと一緒に歌を歌います(歌詞の原本は会で作成)。もちろん楽器演奏と合唱を聴くのみでも自由です。

[申込・問合せ] 文京ボランティア支援センター ☎03-3812-3114
✉vorasen@bunsyakyo.or.jp

活動可能な曜日・時間帯	原則土曜日、午後
対象施設	高齢者施設など
活動可能地域	文京区内
受け入れ先に用意いただきたい物品	ピアノまたは電子ピアノ

そこに行けば何かがある。誰かがいる。 みんなが和める居場所がオープン!

令和5年3月に、多世代交流の居場所「ぶんたね こいしか和」が小石川3丁目にオープン。
NPO法人、福祉の専門家、大学生、そして地域の人々が知恵を出し合いながら、集う人たちが安心してひとときを過ごせる居場所をつくっていきます。
まずは子ども食堂やバザーなどを企画。お近くの方はぜひお立ち寄りください!

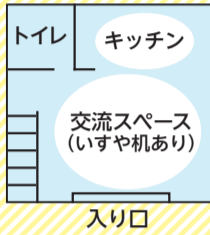
INFORMATION

ぶんたね こいしか和

名称は「ここが種となり芽吹いていくように」という学生のアイデアと、「みんなが和める場所」という地域住民のアイデアの合作。誰もが集える居場所にしたいという思いが込められています。

【所在地】文京区小石川3-8-16

▼部屋の中の様子



▲「ぶんたね こいしか和」運営メンバー

「ぶんたね こいしか和」の特徴は、企画段階からさまざまな人たちが関わってきたこと。障害のある方々の支援活動が続ける NPO 法人東京ソテリアの皆さん、東洋大学ライフデザイン学部生活支援学専攻の教授とゼミ生の皆さん、子どもも大人も食事を楽しめる交流の場「おもてなし食堂」を運営してきた地域の皆さん。立場や世代も異なる人々が「地域の居場所づくり」という共通のテーマでつながり、知恵を出し合いながら準備を進めてきました。ボランティア説明会でも、やりたいこと、できることのアイディアがたくさん寄せられたとのこと。これからも多様な意見やアイディアをミックスして、みんなが居心地よく過ごせる場所を目指していきます。



東京ソテリア
塚本 さやかさん

INTERVIEW

福祉サービス事業所は、サービスの対象者しか集まらない環境になりがちです。ですから、障害のある子、障害のある親を持つ子、外国にルーツのある子など、さまざまな背景を持つ子どもたちが一緒に集える「ぶんたね こいしか和」には大きな意義があると思います。私たちの活動を後押ししてくれる吉田先生、地域の状況を教えてくれる文社協の皆さん、そして地域の皆さんと共に、この輪を広げていきたいと思っています。

おもてなし食堂
高嶋 弘子さん

INTERVIEW



東京ソテリアさんと連携して、困難を抱えている子どもを適切なケアにつなげられるのが「ぶんたね こいしか和」の強みだと思っています。また、不登校や放課後の居場所、ネグレクトやヤングケアラー、介護疲れ、独居高齢者の孤独といった問題の解決に、少しでも協力できれば嬉しいです。居場所は、利用して下さる人たちと一緒につくっていくもの。まずは毎日、居場所を開けることから始めて、皆さんとの信頼関係を築いていきたいと思っています。

東京ソテリア
高田 幸子さん

INTERVIEW

精神保健福祉士の仕事をするなかで、ヤングケアラーと呼ばれるような子どもなど、福祉の網から漏れてしまう子どもたちへのケアの必要性を感じていました。「ぶんたね こいしか和」では、これまでの活動で培ってきた経験や専門的な支援を提供しながら、地域の皆さんや学生さんと一緒に、さまざまな事情を抱える子どもたちが何も心配することなく、楽しくひとときを過ごせる居場所をつくっていきたくと思っています。



東洋大学 教授
吉田 光爾さん

INTERVIEW

学生たちは座学で社会福祉を学ぶことはできても、なかなか実践の機会がありません。運営委員会の一員として「ぶんたね こいしか和」に携われたことは、きっと彼らの将来に役に立つはず。カフェや子ども食堂のお手伝いなどをしながら、ゆくゆくは自分たちの企画も立ち上げられるようになるといいですね。ここでの経験をとおして、自分たちでも社会や地域をより豊かにしていけるという感覚を身につけてもらいたいと思います。

おもてなし食堂
綾部 まり子さん

INTERVIEW

私たちはもともと、誰もが集える食堂を運営していたのですが、コロナ禍で和気あいあいと食事を楽しむ機会が奪われてしまいました。「ぶんたね こいしか和」という常設の居場所ができることで、食事だけではなくいろいろなイベントも企画できるようになるのは素晴らしいことだと思います。理想は、「そこに行けば何かがある。誰かがいる」場所。皆さんの力を借りながら、そんな居場所をつくっていきたくと思っています。



【問合せ】地域福祉推進係 ☎03-5800-2942

寄付金・寄付品 (令和4年12月～令和5年1月)

皆様から頂いたご寄付は地域で孤立しないための居場所活動や子どもたちの学習支援活動など、地域福祉事業の財源として有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

【寄付者ご芳名】(敬称略) 宇佐美 喜代子 20,000 円 / 関口音羽クラブ 1,590 円 / (公社) 全日本不動産協会東京都本部豊島・文京支部 100,000 円 / ダイセーロジスティクス (株) 30,000 円 / タヤマ美容室 (募金箱) 8,035 円 / 東京土建一般労働組合文京支部 188,200 円 / (公社) 東京都宅地建物取引業協会文京区支部 100,000 円 / 中村 義子 10,000 円 / 日蓮宗東京都北部社会教化事業協会 40,000 円 / 原澤 斎 5,000 円 / 春三会 12,640 円 / 平田 隆 6,000 円 / 文社協カレンダー募金箱 5,845 円 / 本郷大横丁通り実業会 (募金箱) 2,887 円 / 三上 社介 20,000 円 / ローボノ支援隊 10,000 円 / 匿名 (10 件) 1,333,000 円 / 大岡 千織 お米 / ポレー・ブランズ・ジャパン (株) フェイスシールド

【使用済み切手寄付者】(令和4年8月～令和5年1月) (敬称略) 青木 春江 / 明石 節子 / 秋田 英子 / 荒井 静子 / 新井不動産(株) / 稲葉 浅治 / 井村屋(株) / 臼井 勝子 / (株) エイコーポレーション / 栄心クラブ / おとわ会 / 音訳ひまわり / 各務 元純 / 家庭倫理の会文京区 / 加藤 純男 / 川口 章子 / (株) 喜屋 / 清村酒店 / (株) けせら / 光文社 / 後楽クラブ / コーシン乳業 (株) / コミュニティ食堂ピノッキオ / 三協鋼鉄 (株) / 柴田 恵美子 / 勝美印刷 (株) / 白岩労務管理事務所 / 鈴木 伸男 / (株) 精研 / 西文社 / 関口音羽クラブ / 千石足もみ庵 / (株) 早輪社 / そば処ひいふう / 山田由美 / ダイセーロジスティクス (株) / 高山 紗代子 / 滝澤 敦 / 武田 昌子 / 棚橋 嘉勝 / 長福会 / 辻井 和香恵 / 露木 久美 / (公財) 鉄道弘済会 / TEPCO 光ネットワークエンジニアリング (株) / 鈴木砂名枝 / 増田希美香 / (医) 同友会春日クリニック / 特別養護老人ホーム文京くすのきの郷 / 富所 由紀子 / (株) トライ / 内藤 マリ子 / (株) 日生不動産 (株) 日生コミュニティ / 認知症サポーターを育てる会 / 野口 正二郎 / ファミリーレストラン大黒屋 / 文京大塚五郵便局 / 文京区更生保護女性会 / (公財) 文京区シルバー人材センター / 本郷五郵便局 / 本郷台中学校 / 牧野 妙子 / 松下 晶子 / 幹田 陽彦 / 宮崎 悦子 / 茗荷谷理容シロタ / 民生委員・児童委員駒込地区 / 室井 節子 / 湯島四郵便局 / 良永 公洋 / 若竹会

*当会は税額控除法人として認定されており、確定申告の際に「所得控除」か「税額控除」を選択できます。【問合せ】総務係 ☎03-3812-3040

歳末・地域福祉たすけあい募金にご協力をいただき、ありがとうございました

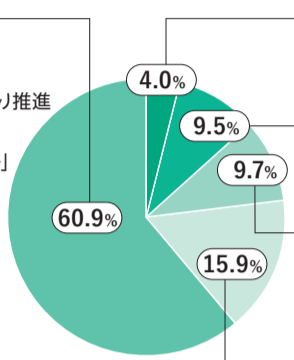
令和4年度募金総額1,022万9,952円 募金件数 6,821件

みなさまからの温かいご支援は、福祉団体などの地域福祉活動費として活用させていただきます。

地域福祉活動費の使いみち

地域福祉推進のために
564万8,083円

- ふれあいいきいきサロン普及事業や居場所など地域の支え合い体制づくり推進
- 文社協だより
- 文京区提案公募型協働事業「Bチャレ」
- 文京区民生委員・児童委員協議会への助成
- 社会を明るくする運動への助成
- 屋外生活者支援事業
- 地域公益活動



障害のある方のために
37万4,000円

- 通所施設指導員研修への助成

子どものために
88万2,000円

- 青少年健全育成会への助成

高齢の方のために
90万円

- 高齢者クラブ友愛訪問活動への助成
- アクティブ介護
- みまもり訪問事業

ボランティア活動推進のために
148万円

- ボランティアグループ研修費助成
- ボランティア活動基盤づくり事業
- 福祉学習
- ぼらんていあニュース

募金総額から事務経費を除いた9,284,083円を地域福祉活動費として活用させていただきます。各事業への配分については、東京都共同募金会文京区地区配分推せん委員会で決定しています。歳末・地域福祉たすけあい運動についての詳細は、下記の文社協ホームページをご覧ください。

ありがとうメッセージ

福祉学習（ゴーグルや装具の着用などによる高齢者・障害者疑似体験/ユニバーサルデザインの箸を使った体験）に参加した区内の小学生より、お礼が寄せられました。



ゴーグルをつけたしゅんかん見えづらくなって、商品が分かって、ねだんが分からなくて、お金の光をたよりにするしかなかったです。お買い物をしている時にこまっている高れい者がいたら、手伝いをしたいと思いました。



おじいちゃん、おばあちゃんやしょうがいのある人に、ユニバーサルデザインのおはし（箸）を教えたいと思いました。ぼくもユニバーサルデザインのかいはつをしたいです。今日は、たくさんの方の助けをうけてくださって、ありがとうございました。



歳末たすけあい運動は、かつては主に生活困窮の方への見舞金として配分されていましたが、地域福祉の進展に伴い、共同募金会の改革を経て、平成8年から地域福祉活動に要する経費を中心に配分されています。

[問合せ] 総務係 ☎03-3812-3040

令和5年度 Bチャレ(提案公募型協働事業)

「チャレンジ部門」まもなく募集開始します!

チャレンジ部門は、自らが文京区の地域課題だと考えるテーマの検証を目指して行うイベント、キャンペーン事業へ助成を行うものです。

このようなチャレンジを応援する事業です

- 想定している課題が、本当に文京区の課題なのかを検証したい!
- 文京区で活動の実績をつくりたい!

エントリー期間: 4月1日(土)~11月30日(木)
※当該年度の助成総額に到達したところで募集を終了します。

Bチャレとは

Bチャレ(提案公募型協働事業)は、区民や団体による地域課題の解決や地域活性化に向けたチャレンジを、区と協働で実施することを応援する事業です。

本事業の詳細はどっとフミコムからご覧いただけます!

過去に採択された団体の情報はフミコムホームページに掲載していますので、こちらもぜひご覧ください。



\どっとフミコム/



\フミコムHP/



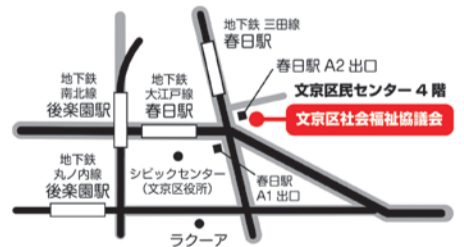
[問合せ] 地域連携ステーション フミコム ☎03-3812-3044

社会福祉法人 文京区社会福祉協議会

文京区社会福祉協議会(文社協)は、さまざまな事業を通じて、文京区地域福祉の向上と充実に努めている非営利の民間団体です。地域の皆さんが主体的に取り組み、支えあえるまちづくりを、地域の皆さんをはじめ、民生委員・児童委員、町会、自治会、地域福祉関係者・関係団体と一緒に進めています。

〒113-0033 文京区本郷4-15-14 区民センター4階
[TEL] 03-3812-3040 [FAX] 03-5800-2966 [URL] https://www.bunsyakyo.or.jp/
[開所時間] 8:30~17:15(祝日を除く 月~金)

スマートフォンはこちら



広告 本紙に掲載されている広告についての詳細は広告主までお問合せください。

おかげさまで創立100周年 ~さらに前へ

道灌山会館

少人数から大規模葬まで幅広く対応いたします。

霊安室完備
費用がお得になる会友制度あり

事前相談無料・お問い合わせはこちらまで

0120-62-1192 24時間 365日受付

大正8年創立 社会福祉法人 **東京福祉会** 〒113-0022 東京都文京区千駄木3-52-1

http://www.fukushikai.com

文京区 かかりつけ医・在宅療養相談窓口

☎ 03-6912-0810

どなたでもお気軽にご相談ください。

文京区小石川医師会内

受付時間 **9:00~17:00** 月~金

文社協だよりに広告を掲載しませんか

約 **13** 万部 **文京区全戸配布** **年 6** 回発行

文社協だよりの広告収入は、地域福祉の推進に活用します! みなさまの広告が地域福祉を支えます。

最終面(4面)の1枠あたり掲載料

初回	25,000円(税込27,500円)
1回	35,000円(税込38,500円)
6回連続	168,000円(税込184,800円)

複数枠使用の掲載料: 2枠連続使用/5,000円引き
3枠連続使用/10,000円引き
4枠連続使用/15,000円引き

お問い合わせは総務係まで。

☎03-3812-3040

詳しくは、ホームページをご覧ください。

<https://www.bunsyakyo.or.jp/>

本号に掲載の人物の写真は、撮影時のみマスクを外しています。

「文社協だより」は町会・自治会などをとおして配布しています。

音訳版・点訳版の「文社協だより」も発行しています。